県議会議員 おおたけりえ

県政レポート vol.37

〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2
TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

☆Instagram↑

納得できる政治資金の適正化を

皆さまいかがお過ごしでしょうか。昨今は、政治について、金銭にまつわる問題等噴出し、「まだこんな時代錯誤なことをやっていたのか」という皆さまの落胆の声が届いております。議員の仕事は、皆さまから税金として集めたお金を、皆さまにとってより有効に活用できるようにしていくことです。議員が、多くのお金を集め、普通の方々とかけ離れた感覚で金銭管理をしている状況では、皆さまの生活感や先行きの不安等に即した課題解決に、共感を持って取り組めない恐れがあり、改革が必要です。このような状況を変えられるのは、有権者である国民一人ひとりのお力です。私も地方議員のひとりとして、皆さまとともに、より良いあるべき姿へ模索を続けたいと思います。皆さまお気付きの点など、事務所（☎0533-80-1055）までお寄せ下さい。

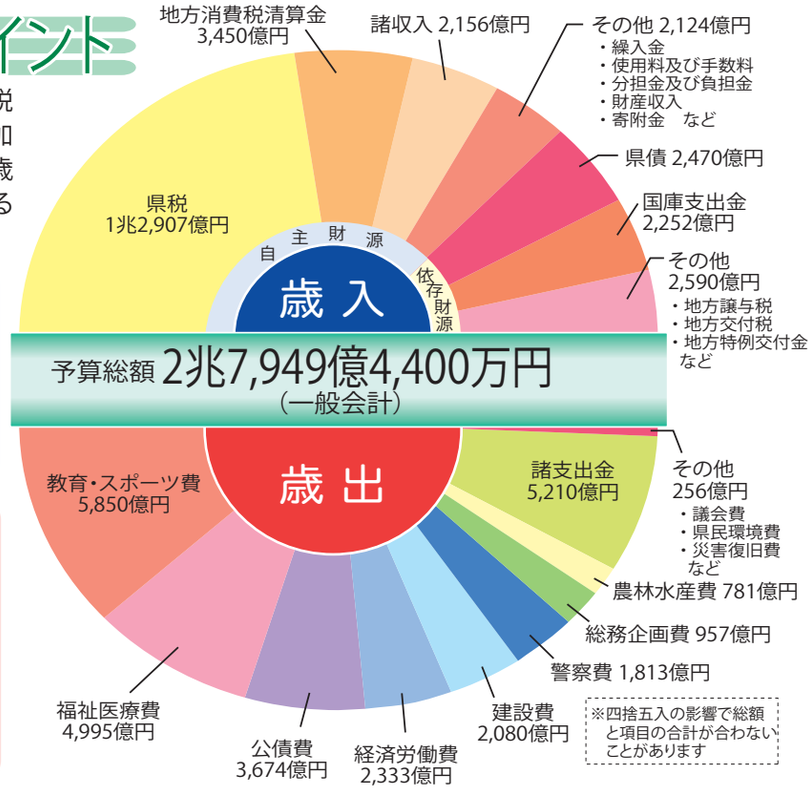
イノベーションを創出し発展をリードするあいちへ

令和6年度 県予算のポイント

県税収入は、好調な企業業績を反映した法人二税の増収を見込むが、人件費や扶助費などの歳出増加に伴う収支不足が見込まれ、単年度の歳入だけで歳出を賄うことが出来ず、多額の基金取崩しに依存する厳しい財政状況が継続している。

歳 入　令和6年度の県税収入は、前年度から440億円増の1兆2,907億円。法人二税では、好調な企業業績を反映し399億円の増を見込むものの、海外景気の下振れ、物価上昇、中東地域をめぐる情勢などに留意する必要がある。

歳 出　人件費は、給与改定や定年年齢引上げの影響による退職手当の増加などにより大幅に増加。また、医療・介護・子育てなどの扶助費は、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることに加え、子ども・子育て支援の強化などに伴い、大幅に増加している。



近年増加傾向であった歳出は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い関連事業が減ったため、昨年に比べ減少しています。県の借金は、投資的経費の増加に伴い通常の県債残高は増加するものの、臨時財政対策債の減少により2024年度末の県債残高全体は前年度比減少の見込みです。財政状況について、今後ともしっかりチェックしてまいります。

令和６年度予算の主なものをご報告致します

一般会計・企業会計合わせて総額４兆3427億円の予算が成立致しました。主な内容をご報告致します。ご不明な点等ございましたら、愛知県ホームページをご確認頂くか、おおたけりえ事務所（☎0533-80-1055）までお問い合わせ下さい。

1 スタートアップ支援によりイノベーションを創出

128億470万円
（他に債務負担行為40億3000万円）

スタートアップの新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、本県産業の成長を拡大させるエコシステム形成を一層強化。「STATION Ai」2024年10月開業予定。東三河サテライト支援拠点に継続してマネージャー配置等。

↑愛知県HP

2 愛知発イノベーション創出

9億2982万円

民間からのイノベーション創出に向けた提案を受け付ける「革新事業創造提案プラットフォーム（A-IDEA）」の運営、農業イノベーション創出に向けて農業試験場と共同研究開発、物流用ドローン・空飛ぶクルマ社会実装調査、スポーツイノベーションプロジェクトコンソーシアム「AiSIA」の設立・運営等。

↑愛知県HP

3 「カーボンニュートラルあいち」実現へ強力に推進

21億6720万円

水素の社会実装の推進（水素ステーション整備促進、低炭素水素モデルタウン検討調査、水素・アンモニア工業炉活用推進、海外水素産業連携推進、他）、FCトラックを活用した物流脱酸素化プロジェクト推進、カーボンリサイクルプロジェクト推進、等。

↑愛知県HP

4 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金

3億6082万円

住宅用地球温暖化対策設備を導入する個人に対し、導入経費の一部を市町村との協調により補助。民間住宅省エネ改修事業費補助金①省エネ診断　補助率：2/3 上限12万円②省エネ設計・改修（省エネ基準レベル）補助率2/5　上限30万円③省エネ設計・改修（ZEHレベル）補助率4/5　上限70万円。また、太陽光発電の自家消費の拡大を図るため、蓄電池の補助制度を拡充（補助基準額10万円/基→40万円/基）。

↑愛知県HP

↑豊川市HP

5 結婚支援の取り組みを推進

6675万円

結婚を希望する若者の出会いの場を創出・￥するため、大規模婚活イベントを開催するとともに、市町村が開催する婚活イベントへの補助、AIでマッチング支援・成婚までの伴走型支援を行うオンライン型結婚支援センターの開設

↑愛知県HP

6 男性の育児休業取得を推進

9億5663万円

男性従業員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに取り組む中小企業等を支援。アドバイザー派遣、セミナー・ワークショップの開催。男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に奨励金を支給（通算14日以上50万円、通算28日以上100万円。1事業者につき1回限り）。

↑愛知県HP

7 保育人材確保対策を推進

17億7608万円

深刻化する保育士不足に対応するため、潜在保育士の復職に向けた伴走支援等を行う「保育士キャリアアドバイザー」の配置、保育施設の採用力向上及び離職防止を目的としたセミナーを開催等を行う。

8 介護人材確保対策の推進

11億9788万円

↑魅力ネットHP

介護職に対する理解促進のため、ポータルサイト「介護の魅力ネット・あいち」を運営、介護従事者の研修支援、「介護生産性向上総合相談センター（仮称）」を設置。介護ロボットやICT機器導入経費を助成等。

9 市民後見人研修の実施拡大

300万円（新規）

市民後見人の養成に県として広域的に取り組むため、オンデマンド研修を開始し判断能力が不十分な本人のその人らしい暮らしを支える人材を養成する。

10 保護した犬猫の譲渡施設を検討

359万円（新規）

動物愛護を推進するため、保護した犬・猫の譲渡を推進する施設の検討・調査を行う。

11 先進環境対応自動車導入促進費補助金

6億 4558万円

中小企業者や旅客・貨物運送事業者等に対し、EV、PHV、FCV 等を導入する経費の一部を補助。補助単価を見直し、FC トラックを補助対象に追加（FCV：60→100 万円、PHV：20→10 万円、FC トラック補助：車両本体価格と通常車両価格との差額 ×1/6）等。

↑愛知県 HP

12 従業員の奨学金返済支援する中小企業を支援 6506万円（新規）

従業員の奨学金返還を支援する中小企業等に対し、奨学金返還のための手当又は代理返還した額の一部を補助（補助率 1/2 以内、対象従業員 1 人あたり上限 20 万円 / 年、採用年度から最大 3 年間まで）。

↑愛知県 HP

13 障がい者スポーツを推進 2041万円

↑アイスポ HP

愛知から障がい者スポーツを盛り上げ、スポーツを生かした共生社会をリードしていく。ポータルサイト「aispo!Do!」の運営、ボッチャ等の競技用具の貸出、障がい者スポーツの人材育成等。

14 県立学校体育館等空調設備整備

45億 2733万円

児童生徒の熱中症対策を図るため、県立学校の体育館・武道館へ空調設備を整備する。高等学校：145 校 292 棟を 2024 ～ 2027 年度に整備予定（2024 年度は 36 校 74 棟）。特別支援学校：26 校 27 棟を 2023 ～ 2025 年度に整備予定（2024 年度は 12 校）。

15 児童生徒の心のサポート充実

9億 9614万円

↑LINE 子ども相談
愛知県 HP

不登校生徒の社会的自立に向けた支援を充実するため、校内フリースクールを県内中学校 5 校に拡大。小中高校生を対象とした SNS による相談を実施、ネットパトロール、SC・SSW の増員等。

16 自殺・ひきこもり対策の推進

2億 4220万円

「あいちこころほっとライン 365」電話相談、SNS（LINE 等）による相談、専門医による相談、「ひきこもり相談専用電話」による相談、「ひきこもり市町村支援員」による支援等。

↑心のサポート
SNS 相談　愛知県 HP

17 矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト 2847万円

矢作川･豊川流域をモデルケースとして、「水循環」をキーワードに再生可能エネルギー等の導入により官民連携でカーボンニュートラルの実現を目指す。河道内落差における小水力発電、遊水地等を活用した再生エネルギー創出、水熱利用の推進等を調査。

18 豊橋浄水場の再整備 4878万円

PFI 手法を用いて施設整備及び管理・運営を行うため、アドバイザリー業務を委託し、PFI 事業者の選定手続きを進める。2024 年度は特定事業の選定、事業者の公募を行う予定。給水地域：豊橋市・豊川市・新城市。

19 御津あおば高校にフレキシブルハイスクールを設置 8493万円

不登校等により高校で単位が足りず中退をしてしまうことを防ぐため、全日制・中間定時制・通信制の 3 過程を 1 つの学校内に置き、フレキシブルに行き来して学べる新しい高校を設置。開設：2025 年 4 月。設置校：御津あおば・佐屋・豊野・武豊高校。

↑愛知県 HP

20 夜間中学の設置 3041万円

日本語指導が必要な外国にルーツを持つ方や不登校などの理由により中学校に十分に通えなかった方に対する日本語の基礎指導や義務教育段階の学びなおしに対応する夜間中学を設置。2025 年 4 月とよはし中学校（豊橋工科高内）2026 年 4 月とよた・こまき・いちのみや中学校

↑愛知県 HP

21 「東三河森林ルネッサンスプロジェクト」森林資源の循環利用推進

5226万円（新規）

東三河地域の森林資源の新たな循環利用を推進するため、森林空間を活用したアウトドアスポーツ等新たなサービス産業の創出や森林信託の導入に向けた調査、木材利用の促進等に取り組む。

22 ゼロメートル地帯における広域的防災活動拠点整備

4億 990万円
（他に債務負担行為 18 億 510 万円）

大規模災害時に浸水が危惧されるゼロメートル地帯において、円滑な救出救助活動に必要となる広域的な防災活動拠点の整備を進める。東三河南部地域は国道 23 号線豊川橋料金所跡地。2024 年度実施設計、2025 年度工事等実施予定。

↑愛知県 HP

被害が大きかった地域の災害復旧を質疑

御津山地区の土石流対策は、次の雨の時期である５月頃までに間に合うのか。

県の答弁

６月の大雨により土石流が発生した御津山地区では、今後の大雨により、再び土石流が発生しても人家に被害が生じることのないよう、新たな砂防堰堤の整備に着手しております。これまでに砂防堰堤の設計を行うとともに、現地に資材を持ち込む工事用の大型モノレールの設置を終えたところです。現在は、次期出水期に間に合わせるよう、土砂を受け止める仮設ネットの設置に取り掛かっており、この工事が完了次第、砂防堰堤の本体工事に着手し、早期に完成するよう取り組んでまいります。

佐奈川の河川整備計画に基づいた今後の取組、当面の対策は。

県の答弁

昨年６月２日からの大雨の検証を踏まえ、２月に河川整備計画を作成し公表。今後は、河口から整備を実施予定。来年度から河川の測量及び護岸の予備設計に着手します。当面の対策として、６月の大雨後に土砂の堆積が確認された２箇所、延べ約 0.9 ㎞区間の浚渫を実施。今後も定期的に点検を行い、適切に浚渫や修繕を実施します。

善光寺川の河川整備計画見直しと当面の対策は。

県の答弁

昨年９月に「河川整備計画流域委員会」を開催し、６月の大雨を受けて計画案の再検討を行うこととし、河道の整備区間と調整池の位置・規模の見直しを進めています。また、小坂井高校生徒・豊川下流圏域住民の方々を対象にアンケートを実施。早期に河川整備計画を作成していきます。当面の対策として、狭窄部約 0.9 ㎞の区間について、河道を広げ、洪水を流れやすくする暫定的な工事を進めており、引き続き上流に向かい整備します。

越水し大きな被害のあった白川の事業予定と今後は。

県の答弁

白川は、2004 年５月に公表した「二級河川音羽川水系河川整備計画」に基づき、下流側から、新白川橋下流までの約 0.9 ㎞の整備が完了。現在は、新白川橋の改築を進めており、来年度は、残る橋台や橋梁周辺の護岸を施工予定。また、６月の大雨により護岸が２箇所被災したため復旧を行っております。なお、越水により浸水被害が発生した区間については、水位が下がった後に点検したところ、著しい土砂の堆積は確認されませんでしたので、現在の状況では浚渫は不要と判断しました。この区間の河道の拡幅や河床の掘削を行うと、下流側の河道が狭い未整備区間で新たな災害が発生する恐れがあり、また、直下流の名鉄橋梁部が現時点では拡幅が困難であるため、まずは、下流から順次整備を進めてまいります。引き続き、定期的な点検を行い、維持管理も適切に実施してまいります。

能登半島志賀町でボランティアに参加！

昨年の豪雨災害の際に、豊川市内の被災地でご活躍頂きました「NPO 法人防災・災害ボランティアかわせみ中部」の皆さまと一緒に、志賀町にてボランティア活動をさせて頂いています。この NPO 法人の皆さまは、発災後から継続して被災地を支援してみえます。ご寄付などご支援を頂ける方は、NPO 法人の HP からその旨ご連絡ください。

↑かわせみ HP

ご意見･ご感想などをお寄せください　●ホームページ――― http://www.ootakerie.jp
●発行 おおたけりえ事務所　〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2　TEL.0533-80-1055　FAX.0533-80-1056